

お宅拝見！

土間通路を配置した のびやかな広がり心地よい家



DATA	
敷地面積	: 210.59㎡ (63.70坪)
1階	: 75.35㎡ (22.79坪)
2階	: 61.27㎡ (18.53坪)
延床面積	: 136.62㎡ (41.32坪)
用途地域	: 一種中高専



さりげなく上質に シンプルモダン

のどかな風景の中に個性的なフォルムが印象的なS邸。すっきりとした色調の外壁とリズムカルな片流れ屋根のモダンな外観は道行く人の目を引く存在でありながら、周囲にもさりげなく調和しています。Sさんは理想の家を追求するため、日頃から雑誌などから気に入ったカットなどを切り貼りしたり、住宅展示場へも足を運ばれ、ご自身の理想を温めてこられたそうです。そんな中で、ご縁をいただき、S様のご希望を当社でお引き受けさせていただくこととなりました。採光と通風・自然素材・土間通路・ロフト・外観イメージ等、いろいろとご要望をお持ちでしたが、どれも希望通り実現することができて、「理想通りの家になった」と喜びの声をいただきました。

(下右)お施主様ご購入された信楽焼の陶器鉢を、洗面ボールとしてカウンターに組み込みました。

(下中)玉砂利を敷きつめ、御影石を置いた踏込は和の情緒が漂う空間。落ち着いた雰囲気演出しています。

(下左)カウンターには桧の無垢一枚板を使用。イスとリビングの座卓は無垢の一枚板を使った当社大工の手作り。自然素材ならではの味わい深い使いごちを楽しんでいただけます。



(上) S様は明るい部屋をお好みでしたので、屋根を棟ちがいにして、高窓を配置。2Fのロフトは床をスノコ状にすることにより、窓が取れない条件にある階段室などにも豊かな陽光を降り注ぎます。



和室へとつながる土間通路

玄関を入ると左に伸びた土間通路が、和室へとつながっています。土間から和室へ上がるその先にはリビング・ダイニングへと続く、大空間が広がっています。間仕切りの引戸や障子は、どれも引き込みになっており、開放感溢れる空間となっています。

陽光に映えるリビングは 素足が気持ちいい自然素材を。

S邸こだわりのひとつである自然素材は、リビング・ダイニングにふんだんに取り入れられています。床は、桧の無垢材を使用し、天井は無垢の羽目板仕上げに。調湿効果が高く、肌触りの良い無垢材は、夏は素足で気持ちよく、冬は暖かいので、床に触れて座るスタイルで過ごしたくなります。南側に面した内障子は引き込みになっています。なので、障子4枚分が全開放でき、リビングに続くウッドデッキがさらに広がりを感じて包まれます。自然の光と風、素材の質感に仕上がりました。

